

基本方針、主な取組み及び予算要求の状況

●平成28年度の基本方針

持続可能な水道事業に向け、次の基本方針のもと、より効率的な事業経営に全力で取り組むとともに、効果的な施設整備を進め、ライフラインとしての責務を果たしていきます。

- 1 「水道施設整備計画(総合計画後期基本計画)」のスタートの年として、着実に事業を実施していきます。
- 2 利用者に料金の負担増をお願いする公営企業として、健全財政の維持に努めます。
- 3 上下水道部局の組織統合や、包括的な委託業務の拡大を検討するなど、ライフラインとして安全面を損なうことなく、引き続き経費削減などの持続可能な範囲で最善の企業努力をしていきます。

●平成28年度の主な取組み

- 1 導水管及び送水管を中心に、管種や口径、経過年度、埋設地盤の状況などの総合評価により優先的に更新を進める箇所を抽出し、廃止(更新の必要がない)管路を除いて耐震化を推進します。  
特に重要な幹線管路(県水送水ルート)の耐震化に努めます。
- 2 堀山下高区配水池について、新東名高速道路のサービスエリアへの給水に対応するため、配水場の整備を進めます。
- 3 向山配水場に設置してある非常用自家発電設備を更新し、金井場・向山配水場の高圧受電盤等更新工事の実施設計を行います。
- 4 より効果的な組織執行体制として上下水道部局の組織を統合し、利用者へのより質の高いサービスの提供にさらに努めます。
- 5 安全性を最優先に確保しながら、これまでの経営努力を継続するとともに、水道使用量の減少を少しでもくい止めるため、水道の安全性や水道事業の重要性を理解してもらえよう努めます。
- 6 自己水の活用に極力努め、県水受水費については、県企業庁などに対して、今後も継続して負担軽減に向け要望していきます。

●平成28年度予算要求の状況

課等名	28年度予算						27年度予算		備考
	要求額	対前年度予算		一般財源額のうち 業務運営費	対前年度予算		当初予算額	一般財源額のうち 業務運営費	
		増減額	増減率		増減額	増減率			
<b>3条予算</b>	2,670,547	△ 64,391	△2.4%	2,616,973	△ 68,662	△2.6%	2,734,938	2,685,635	
水道業務課	1,611,362	5,942	0.4%	1,595,589	4,953	0.3%	1,605,420	1,590,636	
水道施設課	1,059,185	△ 70,333	△6.2%	1,021,384	△ 73,615	△6.7%	1,129,518	1,094,999	
<b>4条予算</b>	1,372,652	△ 65,028	△4.5%	966,879	△ 40,309	△4.0%	1,437,680	1,007,188	
水道業務課	601,834	50,812	9.2%	600,086	72,656	13.8%	551,022	527,430	
水道施設課	770,818	△ 115,840	△13.1%	366,793	△ 112,965	△23.5%	886,658	479,758	
部等の計	4,043,199	△ 129,419	△3.1%	① 3,583,852	△ 108,971	△3.0%	4,172,618	② 3,692,823	

主な「歳入確保」及び「歳出削減」、行政評価への取組み

●歳入確保への取組み 単位:千円		●歳出削減への取組み 単位:千円	
取組内容	効果額	取組内容	効果額
水道料金の適正化・引き上げ	320,760	[経営努力]車両更新見送り	▲ 1,044
[経営努力]駐車場収入(鈴張ほか)	1,668	[経営努力]県水受水費削減	▲ 66,000
計	322,428	計	▲ 67,044
効果額(計)		前年度より 389,472千円 削減	

●行政評価結果への対応状況

No.	担当課等	事業名	行政評価結果	予算や取組みへの反映状況
1				
2				
3				
4				
5				

●平成28年度水道局の主な事業の概要

No.	区分	行政評価結果	事業名等	担当課 (関連部課)	事業費 (千円) ※下段の( )内は前年度予算額					事業概要	
					全体 【事業年度】	新年度要求額	国庫・県費	地方債	その他特財		一般財源
1	総合計画		導水管送水管耐震化事業費	水道施設課	800,000 【 28～37 】	100,660 (76,010)		78,000 (66,000)		22,660 (10,010)	《水道施設整備計画：基幹管路耐震化事業(導・送水管)》 基幹管路である導水管及び送水管を中心に管種や口径、経過年数、埋設地盤の状況に判断基準の点数を付け、総合評価により優先的に更新を進める箇所を抽出し、廃止(更新の必要がない)管路を除いて耐震化を推進します。 導水管0.58km(導水管と同一箇所の配水管0.16km) φ200～250mm L=0.58kmの耐震化事業(配水管φ450mm L=0.16km)
2	総合計画		配水管改良事業費	水道施設課	2,440,000 【 28～37 】	261,507 (266,051)		156,000 (210,000)	1,171	104,336 (56,051)	《水道施設整備計画：配水管耐震化事業》 災害時に備えて、重要給水施設への配水管を中心として、老朽している水道管の布設替えとともに耐震化を進めます。 ①市施工分 配水管(南・大根・西・鶴巻地区) φ75～250mm L=1.89km の耐震化事業 ②NEXCO施工分 新東名高速道路の建設に伴い、除却・復成する配水管、消火栓の減耗分相当額を負担します。φ75～200mm L=1.74km、消火栓5基
3	総合計画		配水管拡張事業費	水道施設課	400,000 【 28～37 】	27,230 (54,504)		21,000 (52,000)		6,230 (2,504)	《水道施設整備計画：配水管拡張事業》 公共下水道事業等の他事業の工事に合わせて、配水管の未整備箇所における新規整備により耐震化を進めます。 配水管(東・大根地区) φ100mm L=0.19km の耐震化事業
4	総合計画		幹線管路耐震化事業費	水道施設課	3,750,000 【 28～37 】	176,400 (71,297)		118,000 (52,000)		58,400 (19,297)	《水道施設整備計画：幹線管路耐震化事業》 幹線管路として位置づけた泉水送水ルートの送水管耐震化を進めます。 送水管(大根地区) φ600mm L=0.226km の耐震化事業
5	総合計画		施設耐震化事業費	水道施設課	218,000 【 28～37 】	27,000 (13,000)		19,000		8,000 (13,000)	《水道施設整備計画》 千村配水池について、クラック補修、防水塗膜等を実施します。
6	総合計画		施設整備事業費	水道施設課	315,000 【 28～37 】	54,730 (88,950)		8,000 (17,000)		46,730 (71,950)	《水道施設整備計画》 取水場の更新整備を進めます。 ・柳川水源実施設計委託業務 ・本町第9取水場ポンプ取替工事 ・沼代取水場用地購入
7	総合計画		第4次拡張整備事業費 (堀山下高区配水場整備事業費)	水道施設課	432,000 【 28～37 】	33,000 (30,000)				33,000 (30,000)	《水道施設整備計画》 第4次拡張整備事業として、堀山下高区配水池について、新東名高速道路のサービスエリアへの給水に対応するため、配水場整備を進めます。 ・堀山下高区配水場整備基本及び実施設計委託業務
8	総合計画		緊急時対策施設整備事業費	水道施設課	1,302,000 【 28～37 】	94,900 (193,000)		(3,000)		94,900 (190,000)	《水道施設整備計画》 緊急時対策としての施設整備を進めます。 ・向山配水場非常用自家発電設備更新工事 ・金井場・向山配水場高圧受電盤等更新実施設計の委託 ・城山配水場送水ポンプ更新工事 ・その他(蓑毛減圧弁外2件)
9	継続	—	水道料金等業務包括委託事業費	水道業務課	643,042 【 23～28 】	118,674 (123,674)				118,674 (123,674)	《経営努力》 水道料金・下水道使用料の賦課・徴収業務の包括民間委託による、より一層の市民サービス向上、未収金解消及び経営の効率化を図ります。